

# 自転車国内販売動向調査月報ダイジェスト(平成23年9月)

当協会では、毎月全国100の標準自転車小売店を対象に、自転車の販売に関するアンケート調査を実施し、「自転車販売動向調査月報」としてとりまとめ発表しております。

平成23年9月の調査がまとまりましたのでその概況をお知らせします。なお詳しくは月報をご参照ください。

## ◎調査店1店当たりの販売台数

本月の1店当たりの新車販売は15.4台で、前年同月に比べ1.9台減の89.0%である。前年同月比で上回った車種は、子供車112.5%、電動アシスト車107.1%で、横ばいがマウンテンバイク、下回ったのがシティ車86.1%、ホーム車91.1%、折りたたみ車66.7%、幼児車75.0%、スポーツ車81.0%である。また前月比では、ホーム車、スポーツ車が下回った。

中古車は前年同月比は下回ったが、前月比では上回っている。

## ◎自店や他店の動向など調査店から寄せられたコメント

各店舗から寄せられるコメントは、今月も修理に関するものが多く「自転車販売は例年よりもやや低調、修理が比較的多めだったので、売上げ全体では極端に落ち込むことはなかった」(東京)、「低価格車はととも量販店にかなわない、この店があってよかったと喜ばれているので修理に精を出す」(山梨)、「販売はほどほどで、部品修理は新学期の学校側の点検等により予想外に多忙であった。安物車の損傷は激しくて、手のかかるものが多かった」(熊本)のように、相変わらず販売よりも修理に忙しく、他店で購入した安価な自転車が持ち込まれているようだ。

また来年度モデル発表の時期でもあり「毎年9月は新車発表会(特にスポーツ車)が行われるが、今年は震災もあり今年度モデルが品薄になっているため、新車のできあがり例年より早くしてほしい。秋の一番よい季節に乗りたいユーザーが待っている」(東京)、「今年のモデルは完売、ニューモデルは予定より遅れて、新車販売や注文を入れてくれたお客様をつなぎとめるのが大変」(山梨)、「今年度モデルが8月で商売が終わってしまう空気が、消費者の購買をわざわざ摘んでしまっている。2011モデルが旧車になってしまうのは、業界の大きな損失だと思う」(新潟)など、モデルチェンジのため商品が品薄になり、自転車の最適なシーズン前に商機を逸するのを心配するコメントがみられた。

調査店1店当たりの販売台数(総合)

[全国9地域 店舗：100]

(平成23年9月)

[単位：台 構成比：%]

車種別	本月		前月		前月比	前年同月		前年同月比
	台数	構成比	台数	構成比		台数	構成比	
シティ車	3.1	17.8	3.0	17.0	103.3	3.6	18.5	86.1
ホーム車	7.2	41.4	7.4	42.0	97.3	7.9	40.5	91.1
折りたたみ車	0.4	2.3	0.4	2.3	100.0	0.6	3.1	66.7
子供車	0.9	5.2	0.9	5.1	100.0	0.8	4.1	112.5
幼児車	0.3	1.7	0.3	1.7	100.0	0.4	2.1	75.0
マウンテンバイク	0.5	2.9	0.4	2.3	125.0	0.5	2.6	100.0
スポーツ車	1.7	9.8	2.2	12.5	77.3	2.1	10.8	81.0
電動アシスト車	1.5	8.6	1.3	7.4	115.4	1.4	7.2	107.1
合計	15.4	88.5	15.8	89.8	97.5	17.3	88.7	89.0
中古車	2.0	11.5	1.8	10.2	111.1	2.2	11.3	90.9
総合計	17.4	100.0	17.6	100.0	98.9	19.5	100.0	89.2
モーターバイク	0.3	1.7	0.4	2.3	75.0	0.4	2.1	75.0

注：モーターバイクにおける構成比欄の数字は本月販売台数総合計に対する比率である。